

平成19年度
第1回 温海地域審議会
会議録

期日：平成19年5月31日（木）

場所：鶴岡市温海庁舎 6階大会議室

平成19年度 第1回温海地域審議会 会議録

○期 日 平成19年5月31日（木）午前10時～

○場 所 鶴岡市温海庁舎 6階大会議室

○出席委員 本間文夫会長、佐藤重夫副会長、五十嵐時雄委員、伊藤欣司委員、
本間明広委員、齋藤金一委員、齋藤幸子委員、佐々木勘司委員、
佐々木真人委員、佐藤一喜委員、藤谷隆委員、本間儀左衛門委員、
本間紀美子委員、本間栄委員、本間元幸委員、本間紀枝子委員、
三浦仁委員

○欠席委員 伊藤貢委員、佐藤喜久子委員

○市側出席者
〈温海庁舎〉

支所長 五十嵐收一、次長 志田忠、
総務課長 川畑仁、主幹 佐々木敏一、政策企画室長 五十嵐正治、
市民福祉課長 本間節子、税務市民主幹 五十嵐金悟、
産業課長 本間新一、建設環境課長 相澤康夫、教育課長 伊藤彦市

〈本 所〉

政策調整室長 石山健一、調整課長 柴田昌明、政策調査課長 渡邊純
政策調査課主査 宮崎清男

○次 第

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 支所長あいさつ
4. 報告事項
 - (1) 平成19年度予算の概要について
 - (2) 平成19年度の主な事業の概要について
5. その他
6. 閉 会

辞 令 交 付

新たに委員となった本間明広委員と本間紀枝子委員に辞令を交付。

開 会 (午前10時00分)

1. 開会 (進行：主幹 佐々木敏一)
2. 会長あいさつ (本間文夫会長)
3. 支所長あいさつ (支所長 五十嵐収一)
(市側出席者紹介)
4. 報告事項 (議長：本間文夫会長)

○本間文夫会長 それではただ今より、報告事項に入ります。「(1) 平成19年度予算の概要について」と「(2) 平成19年度の主な事業の概要について」は関連しますので、一括して報告し、その後質疑を行います。それでは当局より報告してください。

(1) 平成19年度予算の概要について

(総務課長説明) 別冊資料1

(2) 平成19年度の主な事業の概要について

(各担当課長説明) 別冊資料2

○本間文夫会長 ただ今の件について、ご質問ございませんか。

○本間儀左衛門委員 温海温泉林業センター改修事業とありますが、暖房だけの改修でしょうか。ふれあいセンターに次いで大変使用頻度の高い施設です。猛暑の時期が長くなっているときに、冷房施設がないということは、前々板垣知事が県政説明会でお出でになったとき、真夏で大汗をかいていらしたのを記憶していますが、直ちに当たってその辺のご検討はなかった

のでしょうか。

○産業課長 19年度においては暖房施設の改修を予算計上していますが、昨年度からキュービクル等も一部改修しており、建物全体を捉えれば昭和57年の建設ですので、改修にはかなりの予算を伴うわけで、年次的な計画で進めていかなければならないと思っています。19年度は暖房施設の改修を行います。

林業センターについては、温海温泉自治会に指定管理をしております。施設利用者にしてみれば冷暖房機能は必要と予想されますが、現状の施設の考え方、今後の予算の考え方、自治会とも相談しながらということになりますが、現時点では冷房は考えておりません。

○本間儀左衛門委員 現状は分かりました。中長期的なこの地域のあり方を考えた場合、これからの検討課題に入ってこなければならぬ問題だと思います。引き続き検討の材料にしたいと思っています。

○佐々木真人委員 ただ今の質問は大変ありがたいと思っています。先の自治会長会でも、音響設備が壊れていて、数年経っているが補修もしないということで発言があったということです。中央公民館から、林業センターの大集会室が使い勝手が良いものですから、事業を分散したいが、どのようなことができるかという問い合せがありましたが、文化的なところは全然使用できない施設です。暗幕は壊れている、冷房は無い。運動関係で使用頻度が高いわけですが、文化的な活動もできる施設にしていただければありがたい。

○産業課長 当初の目的として林業総合センターとして設置した経緯があり、地域のコミュニティの基地として利活用されてきた経緯があります。そういった利用形態が可能な限り出来れば良いのですが、施設改修には費用も伴いますので、自治会ともご相談しながら検討して

いきたいと思います。

○**五十嵐時雄委員** 五十川橋の架け替えがあるようですが、工事期間中の迂廻路や仮橋など交通止めをしないで対応できるのか。それから、天魄山トンネルが開通し、7月頃には通れると聞いていますが、旧中学校前の丁字路には信号機が付かないという話ですが、温泉から駅方面に向かう車の右折と、トンネルを出て来て直進又は左折の車のどちらが優先になるのか。

○**建設環境課長** 五十川橋の架け替え工事の問題ですが、五十川自治会ははじめ色々なところから工事期間中の色々な配慮についてご意見を伺っておりまして、これから国と協議をするところですが、協議の中で要望を出していきたいと思いますが、国が全て工事するのでなく市も工事をしますので、市の考え方も入れなければならぬと思っています。現段階では、歩道橋を架けることは予算的に無理だと考えています。別の方法で迂回することができないかをこれから国と協議させていただきます。

温海温泉トンネルの開通に伴って交差点の信号機の関係ですが、これも地元の方や温海小学校の校長先生など関係者からご意見をいただいております。信号機が付くのか付かないのかは、県と公安委員会の協議を経て公安委員会が決定すべき事項と聞いております。ただし、地元の方のご意見については県の方に伝えてあります。

○**佐藤重夫副会長** 昨日、海の赤潮現象ということでテレビで見ました。今、海が汚染されているということで、これは地球温暖化や海流の影響もあると思いますが、温海地域は山から川、海まで一体となった地域ということで、山の方は山の方で森林荒廃を防がなければならない、家庭排水や農薬など、いろんなところでの対策が大切ではないかと感じています。こういう審

議会などで大きく取り上げながら、地域として美しいふるさとをつくるということが大変重要ではないかと思っています。その辺の進め方についてお聞かせください。

○**政策企画室長** 温海の特性を生かした取り組みの中で、海を取り上げてやっていこうと考えておりますが、今言われましたように、海の振興に加え、温海地域の四本のきれいな川をどのように生かしていこうかということは、交流ソフトプログラムを検討する中で、一つの考え方の節目と考えております。この地域の大半を占める森林の活用についても視野に入れながらやっていかなければならないと思っています。中山間集落の実態調査を行いながら、集落の皆さんと森林の関わりや影響、森林への今の感情を把握しながら、朝日地域を含めた森林のこれからについてはかなり重きを置いてやっていかなければならないと考えています。新市の林業行政という大きな課題の中での取り組みとなりますので、今年度から始まる緑環境税を含めて森林についてはかなり考慮されていくものと思っています。

○**産業課長** 海・山、自然豊かな温海地域ではありますが、磯焼けについては原因をはっきり断言することはできない状況です。一般的に言われていますのは、河川がコンクリート構造物に変わってきたとか、ダムが設置されてきたとかが森林の落葉の恵みを損ねているのではと言われています。その中で沿岸振興ということでは、作り育てる漁業ということを進めながら、漁業の所得向上に努めているわけですが、磯焼けの問題については、県の試験場とも協議しながら進めています。

○**藤谷隆委員** 先程、天魄山道路の開通の話がありましたが、スクールバスの運行状況を見ますと、かなり高額な予算を持っているわけですが、20年度以降、中学校の通学に関してはしばらく

スクールバスを利用するのでしょうか。それとも、スクールバスは遠いところは別ですが、なるべく廃止していこうという、近くのケースについては自転車通学にしようという話があるわけですが、その辺の計画をお聞きします。

また、三叉路のところに旧温海中学校の石碑があったわけですが、今別の所に保管されていますが、かなり整地もできていますが、未だ確立していないので、その辺はどうなっていますか。

もう一つ、温海の獅子舞保存会の助成に180万円予算を見っていますが、獅子舞保存会では中学生の子供たちに対して運動をしているようですが、今後、そのような運動をもっと強力に進めていって、若者を引き出すことができないかお聞きします。

○教育課長 最初のトンネル開通後の自転車通学を視野に入れているかというご質問ですが、予定では、実際の開通はお盆からまりと聞いていますが、開通後に環境がどう変わっていくか。トンネルが開通して影響があるのは湯温海と湯之里の子供たちです。今すぐということではありませんが、将来的には自転車通学も視野に入れながら検討していかなければならないと思います。すぐということにはいかならないと思います。距離からすれば楨代や宮名、浜中の子供との兼ね合いもありますし、また、トンネルを車で通行する分には何の問題もありませんが、風の影響なども頭に入れながら検討していかなければならない。また、駐輪場などの整備も必要になってきますし、その辺を検討材料にしていきたいと思います。

二つ目の旧温海中学校の石碑については現在温海中学校の体育館の裏のほうに保管しています。現地がきれいに整地になったあかつきには、当初の予定では小学校に降りていく三角地帯に建てる予定でしたが、いろいろ同窓会等

で温泉の入口が良いとの話もありまして、現段階では場所が決まってから設置する予定でいます。

獅子舞保存会につきましては、今年180万円の予算で温海獅子舞保存会ということで、6集落が係わっていますが、補助していきます。中学校のほうでも修学旅行で演じていることもあり、保存会を支援する中で、中学校でもそちらの方に協力していただきたいと思います。これからも子供たちの育成と合わせて、保存会の組織としての益々の強化のために支援していく考えでおります。

○藤谷隆委員 石碑の問題については、三叉路のところに空き地があるので、その辺にしてはどうかという意見があったようですが、その後、温泉に持っていこうということになったのでしょうか。

また、自転車通学については、豊浦中学校の場合、波渡から全部自転車で通学しています。歩道が完備されているということもありますが、そういう面からすると、天魄山トンネルも歩道が整備されているということで、やる気があるのかどうか。スクールバスには1億からのお金を使っているわけですから、そのまま温存していれば20年も25年も同じだと思いますので、その辺をもう一度検討していただきたいと思います。

○教育課長 石碑の件については、候補地としては温海小学校に降りていく三角になっているところ、更には丁字路の温海から湯温海に向かった左に空き地があり、そこを地元で活用できないかという話があったようですが、そこを地元と相談しながら候補地に上げているようです。

自転車通学については、いつの時点というよりも、道路が完成した後に、風向きとか様々な気象条件なども頭に入れながら、検討していき

たいという考えであります。

○齋藤幸子委員 結婚対策事業については、継続して何年かやっているわけですが、今までこの事業で結婚に至ったカップルは何組おられますか。

また、あつみ温泉一本木スキー場管理運営についてですが、今年は暖冬で利用者数も大変心配されましたが、その後、今はワラビ園として活用していますが、トイレが無いということをよく言われます。建物の中にはトイレがありますが、使えないということで大変困っています。建物の中のトイレを利用できないものかという声を聞きますので、検討していただきたいと思います。

○総務課長 結婚対策の関係ですが、これまで男女の交流イベントで出会いました方の結婚が9組あります。

○教育課長 スキー場のシーズンオフの利用についてですが、一本木スキー場の電気料や水道料をシーズンオフに休止にしておかないと、基本料金などの経費が月に20～30万円ほどになります。旧温海町の議会でも様々な質問があったわけですが、年間通して稼動しておりますと、基本料金だけでそれぐらいになります。電気料については、シーズンオフに休止にすることで経費の削減に努めています。また、水道については、水利権の関係で余所から水を引いているものですから、シーズンオフはその水利は使わないということにしています。ワラビ園に来たお客様のためにトイレを使わせることとなりますと、月に何十万という経費がかかることとなります。

○齋藤幸子委員 トイレのことですが、経済的な理由で使用できないということでしたが、ワラビ園も1ヶ月くらいで終わるわけです。その間だけでもイベント用の簡易トイレでも設置してもらえればありがたいと思います。

○教育課長 ワラビ園は地元の農事組合法人で運営しており、スキー場を設置する際にそこと協議しまして、冬期間だけ一定の土地を利用するというので協議をしてきました。今の時期は観光ワラビ園として組合でやっているのも、民間でやっているものに市費を投じてトイレを貸すというのはいかがなものかという考えであります。このような意見があったことは組合の方に伝えておきます。

○本間紀美子委員 先程の説明で、別冊資料1に総務費に臨時職員という経費がございます。温海庁舎の職員は支所長のあいさつの中で、前年135人から106人になりましたということで、温海庁舎には臨時職員の配置がなかったのかということ。また、教育委員会関係と思いますが、ふれあいセンターの管理費で、委託料と燃料費が主な内容となっておりますが、修繕費はこの金額に含まれているのか確認をお願いします。

また、別冊資料2で、温海産杉の活用ということで、先程副会長さんからも様々な地域の環境整備ということでお話がありましたが、地域環境整備のために、各集落、個人の家庭でも小物への活用ということで、様々工夫された小物類を温海地域内で見かけることがあります。プランターの受け台とかベンチとか案内板とか、そういうものへの活用ということで、出来るだけ温海地域に来られた方々が温海産杉で作られているものが目立つ環境というか、そういうところにもぜひ行政の立場から推進していただき、また、森林組合からも様々な活用へのアイデア提供していただくようお願いします。このごろ国のサイドでも観光立国ということで魅力ある日本を推進されているようでしたけれど、魅力ある温海地域を目指して今後行政からも推進をお願いします。

○総務課長 臨時職員の関係ですが、正職員の減員等に伴う臨時職員、嘱託職員等の配置はあり

ません。従前からの専門指導員等はおりますが、新たな配置はありません。

○産業課長 地元産杉ということですが、旧温海町と旧朝日村を対象区域として、地元産杉の利用に対する助成があります。18年度は温海地域で5件を助成しており、19年度も引き続き120万円ほど予算を計上しています。特に公共事業による建物への木材の使用について、機会があるごとにお話させていただいておりますし、鼠ヶ関小学校については木材をふんだんに使って計画されているようです。年度的には件数は落ちておりますが、そういった形でPRしながら地元産杉の使用についてお願いしているところです。

また、地域環境ということで、木のやさしさがあるわけですが、小物類についても地域の方々が利活用しているということですが、観光協会でも森林組合と連携してプランターの取り組みをしているようですし、色々な方々のご意見をいただきながらこういった事業を推進していきたいと思っております。

魅力ある温海地域をとということですが、温海地域全体を魅力ある地域につくっていかねばならないことは大前提ですが、特に重点的に温海温泉の魅力づくりを進めているところです。公共的には道路空間を整備しながら、沿道につきましたは地元商店や旅館、地元の自治会と連携しながら、行政と一体となって誘客に努めているところであり、チット・モッシュェを一つの観光基地として観光情報を発信しながら、魅力ある温海温泉をつくっていききたいということですががんばっているところです。

○教育課長 ふれあいセンターの管理費についてですが、修繕費については約200万円ほど見えています。事務室等の雨漏り修繕等に使う予定です。

○本間儀左衛門委員 新鶴岡市になりまして、旧

温海町に対する手厚い助成の数々については、まずもって感謝御礼を申し上げたいと思います。先日、富塚市長と直接お会いする機会があり、「合併してよかったろちゃ」と聞かれました。良かった部分と悪かった部分とあり「然れども、然りながらです」と申し上げました。

第一点として、合併の道筋をきちんとお示しいただきたいということです。富塚市長曰く、観光については分からないから、担当の人間に現場の声を聞きなさい。現場の方々は良く自分たちの要望を上げなさいということでありませぬ。現実のところ、観光協会の予算は毎年5パーセントカットです。このくらいは当たり前だとの声もあるようですが、尚且つ、長い間、観光協会が旧温海町から助成をいただきながらバラ園の管理をやってきました。そのことについて、観光協会は造園業者にあらず、バラ園の管理をしている者についても、専門の資格を持っている者ではない。こういう契約形態についてはいかがなものかと。結論は一年限りということでありませぬ。こういう情勢の中で、現場の事務職員が大変動揺しております。こういう削減と合わせて、一方において先日、摩耶山の雪害調査ということで、観光協会から人を立ち合わせてくれということでありませぬ。観光協会からは摩耶山支部長が出ているはずだと申し上げたら、その他に事務局ないし観光協会長が出て来いということでした。このことについては事務局に、こういうご時勢の中で摩耶山支部の現地の人間が立ち会っている。これ以上のことについては、ご遠慮してもらいなさいと申し上げました。削減しようとするところと今までどおり進めようとするところが、大変錯綜しています。観光協会の事業の進め方として、短期的なことはもちろんですが、中長期の展望がぜんぜん見えませぬ。現場の方でよく検討していただき、我々とも意見交換させていただきな

がら、合併の目的自体が合理化を図っていくということですから、それにはご協力申し上げます。しかし、ばらばらの形で従来どおり進められているということについては、大変遺憾に思います。特に人の問題については慎重に進めていただきたい。

- 産業課長 観光協会の補助金については、市全体の経費を判断しながら、対前年比5パーセント減という形にさせていただきました。旧温海町時代も3カ年で15パーセント減という形になったという経緯もありますし、温海温泉の観光をバックにしている私どもにしましては、気持ち的には非常につらいところもありますが、予算の流れの中でご理解いただきたいと思えます。

バラ園の管理については、従来は観光協会に管理を委託してきた経緯があります。委託業務の考え方ですが、市の入札、委託の規則もありまして、考え方を示させていただきました。当面一年間を掛けて整理をさせていただきたいと思えます。確かにバラ園管理のノウハウ、状況を把握している方ではありますが、今後のバラ園の管理のあり方を踏まえまして、今回お話をさせていただいたという経緯もありますのでご理解いただきたいと思えます。

摩耶山の雪害調査については、5月27日の摩耶山の山開きの前段で実施しております。教育課、産業課の職員、観光協会支部の方々、ボランティアの職員等が参加していますが、非常に厳しい状況の中で、休みを出しながら調査をするということに対するご質問かと思えますが、観光協会支部の中の事業と位置づけておりますし、行政も事務局ではありますが、一体となって進めているところでして、削減しているところと、現場では厳しいという声も聞きながら、それは反省点としまして、次回の事業の進め方について参考にしていきたいと思えます。

観光事業の中長期的な事業については、私で答えきれない部分もありますので、いろんな方々のご意見を伺いながら、整理していきたいと思えますし、明日6月1日に観光協会、商工会、産業課観光商工班で会議を持ちながら、事業の確認や今後の進め方について、先程ご指摘いただいたご意見も含めまして協議していきたいと思えます。

- 本間儀左衛門委員 そういうことで、現場のところは調整しながらということでもあります。なお、上の段階のほうでも、これからの道筋について我々と一緒に討議を進めてもらいたいと思えます。

二番目として、上水道料金の値上げについて申し上げます。一昨年の10月、合併間際の最後の上水道料金審議会におきまして、大変我々も抵抗いたしました。新しい上水道料金は、必ずしも旧鶴岡市の料金ではないということ、前町長から言っていただきましたが、上水道料金審議会の内容を聞きますと、審議委員の皆さんにおかれては、特定地域、特定業種の代表としての発言は慎んでいただきたい。更に先日は月山ダムの視察があり、これだけの施設を造り、これだけ金が掛かるのであればというような、外堀を埋めるような事業は着着と進めておられるようです。あえて二番目として、上水道料金の値上げについてお話を申し上げたところです。

瀬波温泉のある村上市では、旧温海町より安い料金で運営をしています。石綿セメント管の交換云々、これだけのお金を使っていたということには、感謝の言葉以外にありません。しかし、こういったものは当然予想された支出です。いろんなお金の出し方があったはずですから、この費用が掛かるから水源の違う旧温海町の水道料金についても、同一に上げなければならないということについては、私はなか

なか承服できないと思います。

全国旅館生活衛生同業組合という一番裾野の広い全国の旅館組合ありますが、ここ10年間、3万軒の加入旅館がありました。2万軒になりました。そういう大変厳しい中であって、たしかに合併の目的は、それぞれの事業で採算を採るといことですが、もう一方で、税源を守るということも配慮をお願いしたい。

○支所長 水道料金の考え方については、それぞれの事業等を水道企業会計として組んで、適正な水道料金を算定いたしますので、水道料金算定の考え方について今のような意見があったということをご報告させていただきます。

○本間儀左衛門委員 三番目として、旧温海町時代の総合計画審議会で、しゃりんの商品の取扱いについて要望を出させていただきました。旅館組合、源泉有限会社等各団体から50万円の出資をいただき尚且つ、税が投入されているということでありながら、しゃりんで開発された商品についてはしゃりんでしか売られていない。そして、値段のつけ方にしても、利幅は20パーセントで良いという考え方についてはいかがなものか。当時の佐藤正明町長は、大変ごもつともなご意見ということでお答えいただきましたが、その後、何のお答えもありません。その時の趣旨として申し上げたのは、しゃりんというのは旧温海町全体の商品開発センターとしてあるべきでないか。そのために出資もし、税を投入しているという考え方は間違いではないと思います。合併が成されたというどさくさもあつたと思いますが、その後何の回答もありません。ぜひご回答いただきたい。この場でご回答いただけないのであれば、いついつまで回答申し上げるということでご返答お願い申し上げます。

○産業課長 しゃりんについては、直売施設として私どもが所管している施設でありますし、回

答が無かったということについては大変申し訳なく思います。その時の質問内容を私は承知しておりませんので、確認をしながら早急にご回答したいと考えております。いついつまでというのはちょっと申し上げにくいのですが、前回の質問内容を確認しながらご回答申し上げたいと思います。

○三浦仁委員 保育所に関するごことお聞きします。ご承知のとおり少子化が進んでまいりまして、当法人で運営している保育所も19年度から、定員は20名という最低定員はありますが、10名の保育園が出てきました。今年度は今まで積み立ててきた資金を取り崩しながらどうにか運営は出来るわけですが、来年度からは非常に困難だということご頭を痛めているところです。昨年度、各保育園で保護者の方から地域懇談会を開いていただき、その中で統合的に整備してはとのご意見もあり、前に温海町で定めた保育計画の中では、小学校区に一つと定められていますし、どうしても困難な場合は、市のほうから補助をいただいても存続してもらいたいというご意見も出されました。それらを踏まえ、当法人としても早急に方向性を決めなければならないと考えております。昨年度の審議会の資料で、主要事業の中に統合保育園の建設が掲げられていたましたが、それを含めて今後検討していかなければならないという考えから、統合保育園の建設はいつごろになるのか目途があれば教えていただきたい。

○市民福祉課長 平成12年に策定されました温海町保育計画の方針の、小学校区毎に1保育所、集団保育型児童館の解消に基づきまして、長徳寺保育園、かもめ保育園、温海児童館の3施設を統合しまして、自由来館型児童館、子育て支援センターを併設した中核的機能を持つ保育園として整備する計画を進めております。予想以上に少子化が進んでおりまして、実態はお話

されたとおりでありますが、今年度統合保育園のみならず、保育園の運営のあり方といいますか、統合して経営した方が効果的ということもありまして、全体を見直さなければならないと考えております。それを踏まえまして、適正規模の保育園運営が課題となっていることから、今年度、人口減少地域における保育園施策の研究ということで知識経験者の方を入れまして検討委員会を作りまして研究を進め、どういった保育行政が良いかということをし合う機会を設けることにしております。統合保育園についても、大体このくらいには建てなければならないという目途はありますが、この研究を通じて具体的に進めたいと思っています。

○伊藤欣司委員 合併に伴い、6消防団が連合体制をとっているわけですが、事務調整について消防団に関する事務調整が非常に多く残っていると聞いています。5年を掛けて調整するのか、早めていく方向性にあるのかお聞きします。

○総務課長 事務事業調整については、できるものからできるだけ早くということで進めているところです。一つの自治体でもありますし、できるだけ早く一体感の醸成ということで作業を進めていきたいと考えています。

○本間紀美子委員 先程、保育園関係の意見、要望が出されましたが、関連しまして、保育料金についても前は5年以内に調整となっていました。地域間の格差ということでは、温海地域が安い料金で利用されているという記事を見かけました。若い世代にはありがたい状況かなど見させてもらいましたし、今後若い方々が市に定着して家庭を持ち、子育てしやすい環境ということでも、出来るだけ低い料金に合わせさせていただくことで検討をお願いします。

○市民福祉課長 保育料金につきましては、5年以内の調整となっておりますが、今年度に検討いたしまして方向性を示したいと考えており

ます。進め方としましては、児童福祉審議会に諮問し、審議していただくことになっております。おっしゃるとおり、子育て支援の一環として保育料は大変な経済負担となると思いますので、子育て支援の一環となるように検討を進めていきたいと思っています。

○本間文夫会長 他に質問等無いようでしたら、これで報告事項を打ち切らせていただきます。

5. その他

○本間文夫会長 事務局からありませんか。(事務局からは無し。)委員の皆さんからはありませんか。

○五十嵐時雄委員 合併して多少の不便は覚悟していましたが、たまたま昨日の防犯協会の会議で、運転免許証の更新や道路使用許可の申請が、今までは温海警察署で出来ていたものか、鶴岡警察署まで行かなければ出来ない。免許証は出来次第送ってもらうことも出来ますが、道路使用許可証は本人の受領印が必要なので取りに行かなければ渡すことが出来ないということでした。行政の窓口の不便もさることながら、こんなことで不便が出てきたということですね。

先程三浦委員から保育園の統合計画についてありましたが、これも平成12年に計画が出たがさっぱり進展が無いということです。合併前に室内ゲートボール場を早期に建設してもらいたいということで、議会に請願を出しましたが、必要なことだということで採択されていますが、話を聞くと新市の統合計画には載っていないということです。どうも見通しが暗い。あのように議会で採択されたことが、合併協議会で引き継ぎされているのか。ごく限られたゲートボール人口ですが、我々の冬期間の健康づくりには大変重要なことだと思っています。こ

のことに對する取り組みについてお考えがあればお聞きしたいと思います。

○**総務課長** 運転免許証の更新の件については、市町村合併というより鶴岡警察署と温海警察署の統合の問題ですし、その際に、温海警察署長さんはじめ関係者が集落を回って丁寧に説明されていたということで、ご理解をいただきたいと思います。また、逆にスケールメリットが出ている面もありまして、パトロールなどは従前より多く回っているということですし、遭難の際の捜索活動にもかなりの人数が短時間で本署から来ているというメリットなどもありますので、ご理解いただきたいと思います。

○**教育課長** 屋内ゲートボール場の建設に関しては、前から何回か要望を出されていますし、現段階で見通しというとな難しいですが、担当者としましてもこの問題は頭に入れておりますので、よろしくお願ひします。

○**五十嵐時雄委員** 免許証の更新については、私も今月29日に行ってきましたが、受付に行つて視力検査をして写真を撮つて、はい出来ましたということですから、あの程度なら日にちを決めて半日でも温海に出張することが出来るのではないか。ゲートボール場についても早急にお願ひしたいということに要望します。

○**本間紀枝子委員** 合併して身近な問題として、図書館が、今までは敷居が高かったのに、鶴岡市の図書館に自由に出入り出来るようになったことが合併して良かったと身近に感じるところですが、移動図書館について、旧鶴岡市ではずいぶん前から実施されており、各施設に回つて施設の方が大変楽しみにしているということを知っています。特に温海地域は、集落が分断して温海の図書館は年々充実して蔵書も増えているということですが、その恩恵を各集落にも移動して、交通手段の不便な人も受益できるような移動図書館を要望いたします。

○**本間文夫会長** ただ今のは要望ということですね。

予定の時間となりましたので、この辺で協議を終わらせていただきます。本日はどうもありがとうございました。

閉 会（午後0時）